

当今の劇壇をこのままに

岡本綺堂

青空文庫

今の劇壇、それはこのままでいいと思う。旧臘私は小山内君の自由劇場の演劇を見た、仲々上手だつた、然しあれを今の劇壇に直にまた持つて来る事も出来ないでしようし、文士劇でも勿論あるまい。

医師が薬を盛る時に、甚しく苦い薬であると、患者は「これは非常によく利く」といわれても、飲むのを嫌がる、男はそれでも我慢をして飲みもするが、婦人などは「死んでも妾わたくしは飲まない」などと随分と強硬なのがある。生命いのちと取換えの事がそれである。どつちかといえば、見ても見ないでもいい芝居を、いくら良いものでも、苦かつたら見まいと思う。医師は患者に苦い薬を飲ませ

る場合に最中やオムラートに包んで服用させる、患者はそれで利くと段々と信じ、かつ馴^なれて苦い薬も飲むようになるのである。

今の劇壇はこのままでいいとは、急激な苦い薬を飲ませずに、最中やオムラートで包んで飲ませようの謂^いである、私は常にそう思う。芝居の見物は幼稚である、進まないといわれるが、なるほど批評家や脚本作家から見れば幼稚でもあり、進まないであろうが随分と進んでは来ている、昨年、歌舞伎座と市村座で骨寄せの岩藤を演じたが、先代菊五郎の演^やつた一昔の前には見物は喜んで見ていたのが、今では骨が寄るのを見ると、いずれも見物は笑つた。今の方が遙に道具も工夫も巧妙であるでしょうに、見物は笑つた。して見ると見物は進んで行く、このままで行つても十年後

には随分自由劇場も儲かる事になるでしょう。私は外国へ行つた事はないが、あちら外国でも一般の見物にはイブセンやマアテルリングなどは受けないのだそうですな、それで自由劇場のようなだんたい団隊だんたいが沢山あるが、それも思わしい決算けっさんを見ないで行ゆきなや悩み勝ちだとう。

私は見物は進んで行くし乳がなくても子は育つ、一年経てば一つになる、あちら外国でも見物は甘いものだ、といつて、現状に満足するものでは決してないが、ただ急激な変動を見物に与えたくはない、苦い薬を飲ましたため、患者が懲りてしまつて、その医師がはや流行らなくなるのは、本意ではない、新しい進んだ今の見物には

チト面倒だというものをオムラートで包んで見せるのが私の用意である、一つの方法として歌舞伎座の田村氏などもよくいうのです「一幕位はズバヌケて新しいものを出して御覧なさい、見物は相応に見て、苦情もいわないでしよう」と。

今の俳優の中で延そう^(のば)という者も見当らないが、先ず宗之助^{ま(そうのすけ)}であろう、あの人は女役^{おやま}が適當であると自信して、かなりいい立役が附いても喜ばぬ風^{ふう}であるが、とにかく年は若し、最も有望なんであろう。菊五郎吉右衛門も、今と大差なしで固^{かたま}つてしまふだろうし、歌舞伎座幹部連もいずれも年配で、先が見えている、大器晩成と顧客^{ひいき}がいう栄三郎もチト怪しいものである。もつとも今^{かきつ}の羽左衛門^{かきつ}が家橘^{かきつ}といった頃は拙^{へた}さ加※はお話になつたものでな

く、私は到底今のようになるとは思わなかつた、私が明治三十年頃、歌舞伎座へ『柿木金助』^{かきのききんすけ}という新作物を書いた、筋は名古屋の金のしゃちほこを廐^{たこ}に乗つて盗むというのだが、その金助の役を八百蔵に書き下したところ、芝居では家橘にやらそうというので、私は「あんな下手な人は御免だ」と断つた事がある（どうどう家橘が演じたが）。それほどであつたので、到底今の羽左衛門とは思いもならなかつた。団十郎も三十歳までは大根の頭梁であつたというから栄三郎またどうなるか分らぬが先ず先ず怪しいものである。さて高麗藏^{こまぞう}とてどうだか？ 团子^{だんご}は氣はあるようだが柄で難かしく、挙げ来れば左団次であろう、あの人人が歌舞伎式で成功するとは決していわぬ、新しいもので行つたらばと

思うのである。左団次に扈従こじゆうしている左升は旧劇物では駄目だが、新しいものだと仲々よくなる、新作物にちよつと巧い俳優であるが、然しこの位の俳優ならばいくらもあるのである。さて俳優にもまた人がない。

青空文庫情報

底本：「岡本綺堂隨筆集」岩波文庫、岩波書店

2007（平成19）年10月16日第1刷発行

2008（平成20）年5月23日第4刷発行

底本の親本：「新声」

1910（明治43）年2月号

初出：「新声」

1910（明治43）年2月号

入力：川山隆

校正：noriko saito

2008年11月29日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたつたのは、ボランティアの皆さんです。

当 今 の 劇 壇 を この ま ま に

岡 本 綺 堂

2 0 2 0 年 7 月 1 3 日 初 版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>